



NET 200g × 5個

リーフSGは葉面の保護と他の葉面散布資材の肥効を高めることを目的とした葉面散布資材である。

●効果と働き

①葉面の保護

リーフSGを葉面散布し、葉面を保護することで葉面からの蒸散を防ぎ、乾燥・萎れ対策及び鮮度保持ができる。また、リーフSGに含まれるトレハ

ロースは葉面の凍結を防ぐ働きがあり、霜害対策にも役立つ。

②粘性による効果

リーフSGに含まれるプルランとトレハロースは付着性・接着性に富んでいる。そのため、他の葉面散布資材との混合することで肥効を高めることができる。

また、付着性・接着性が高いことにより、葉面に付着した害虫の動きを抑制する使い方も可能となる。

●使用方法

葉面の保護

500〜1000倍液を3〜5日おきに葉面散布する。

肥効向上

1000倍液を他の葉面散布資材に

混合して葉面散布することで肥効を高めることができる。

切り花の鮮度保持

花を切る前に1000倍液を葉面散布する。花を切った後、1000倍液に切断部分を12〜24時間浸す。

害虫の活動抑制

300倍液で1〜2回程度葉面散布する。

●注意点

リーフSGの高濃度散布は生育抑制効果が表れる。

生育抑制を狙う場合はPフォスタとの混用する。逆に生育抑制が起こった場合は、リーフA液材もしくはリーフアップNの葉面散布による生育促進を推奨する。